

ウクライナ文化の挑戦

激動の時代を越えて
シンポジウム

Challenges of Ukrainian culture Beyond turbulent times

13:00-13:10

趣旨説明 赤尾光春

13:10-14:40

第1セッション

「日本からウクライナへの視線／
ウクライナから日本への視線」

「日本の左翼・リベラルの「ウクライナ否定」を考える
——ウクライナ左翼グループ支援の経験から」 加藤直樹

「ウクライナについて学ぶ——慶應義塾大学での試み」 熊野谷葉子

司会=赤尾光春

コメントーター=岡部芳彦

14:50-16:50

第2セッション

「ウクライナ文化の源流を辿る」

「ザスラーウシケイ公の世界修復論」 原真咲

「18世紀から19世紀前半におけるウクライナのイメージ形成と
歴史観」 大野斉子

「言語禁止の状況におけるウクライナ語の活力」 イーホル・ダツェンコ

司会=原田義也

コメントーター=越野剛

17:00-18:30

第3セッション

「映画と音楽に見るウクライナ精神の系譜」

「知られざるウクライナ映画——1960年代の詩的映画の興隆を中心に」

梶山祐治

「音楽で語るウクライナ史、政治、国民性：昔と今」 オリガ・ホメンコ

司会=越野剛

コメントーター=沼野恭子

10:30-12:00

特別セッション（英語）

“Ukrainian Uses of Social Media” (Amelia Glazer)

“Ukraine: Unmuted—The Toxic Spell of “Imperial Knowledge” and
Challenges of Decolonization” (Mykola Riabchuk)

司会=赤尾光春

13:00-15:00

第4セッション

「侵略に抗して——戦時下における文化実践の諸相」

「ロシア・ウクライナ戦争と笑い——ポリティカル・ジョークから
エスニック・ジョークへの変遷と国民意識の形成」
赤尾光春（国立民族学博物館）

「ウクライナの現代美術」 鴻野わか菜

「戦争を生き抜くための言葉——2022年2月24日以降に書かれた詩を
めぐって」 原田義也

司会=越野剛

コメントーター=池田嘉郎

15:10-16:40

第5セッション

「ウクライナ・アイデンティティの変貌」

「ロシアによるウクライナ侵攻の言語的背景」 池澤 匠
「ウクライナ人とは誰か」 平野高志

司会=原田義也

コメントーター=田上雄大

17:00-17:30

全体討論

司会=赤尾光春

2/24 [土] 13:00-18:30

2/25 [日] 10:30-17:30

会場=慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

参加費=無料

事前登録=対面参加の場合は不要。オンライン参加の場合は事前登録をお願いいたします。
https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_-ca3gthiSACyjpCGiONbFA

共催=人間文化研究機構 グローバル地域研究推進事業「東ユーラシア研究プロジェクト」 国立民族学博物館拠点
文部科学省 科学研究費 基盤研究 (B)「大国主義の現代史」(代表:宇山智彦)/慶應義塾大学 教養研究センター

問い合わせ先=e.pithecanthropus@gmail.com (赤尾)

ZOOM
オンライン参加
事前登録

